

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	成田航空ビジネス専門学校
設置者名	学校法人翔陽学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務専門課程	エアラインビジネス科	夜・通信	6 単位	6 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			

(備考) ・卒業に必要な単位数は選択必修科目で「クロスカルチャー」を選択した場合103単位、「情報処理実習Ⅲ」を選択した場合102単位。

- ・選択必修科目の「研究講座Ⅰ」はいずれか2科目、「研究講座Ⅱ」はいずれか1科目を選択した場合で算出。
- ・他の選択必修科目で「情報処理実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」でBを選択した場合、実務経験のある教員等による授業科目の総単位数は27単位。

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://abc-narita.ac.jp/wp-content/themes/responsive_243/images/curriculum2019.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	成田航空ビジネス専門学校
設置者名	学校法人翔陽学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて
https://abc-narita.ac.jp/wp-content/themes/responsive_243/images/zaimusyo_2019_7.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	鴻池運輸株式会社	2019年4月1日～ 2022年3月31日	業界の知識を生かした活動
非常勤	成田市中学校 元校長	2019年4月1日～ 2022年3月31日	元校長としての教育業界の知識を生かした活動
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	成田航空ビジネス専門学校
設置者名	学校法人翔陽学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

- ・授業計画は各担当講師が前年度の3月までに作成、教務部へ提出する。
- ・教務部は提出された授業計画を定められた授業目的に対して、授業内容、時間配分等についての妥当性を吟味し承認する。
- ・承認された授業計画は4月の新年度開始までに、ホームページに公表される。
- ・各授業の担当講師は、作成、承認された授業計画の内容に基づき、年度、または、学期始めに授業の概要を説明する。
- ・教務部は前・後期、各科目的期末試験について、試験範囲、内容、難易度、制限時間等が適当であるか提出・公表されている授業計画に照らして確認し、不適当な部分が認められる場合は、担当講師に指示し修正を求める。
- ・各授業が授業計画に基づき適正に実施されているか、授業見学等の機会を利用し確認する。適正でないことが認められる場合は、担当講師に改善を求める。

授業計画書の公表方法 <https://abc-narita.ac.jp/2019年度シラバス>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

- ・各科目の評価は、定期試験、不定期に行われる小テスト・課題等の各評価、および、出席率を科目ごとに一定の割合（外国語会話系および情報処理系科目は一律30%、他は20%）で点数化して総合し評価する。
- ・100点を満点とし、グレードを以下の5段階に区分する。
90点以上=A+、80点以上=A、70点以上=B、60点以上=C
60点未満=D *不合格。
- ・定期試験の合格最低点は60点でこれに満たない場合は再試験、再々試験、補講、により学習内容の不足分を補う。また、各科目の出席率が70%に満たない場合は補講により不足分を補うことができる（ただし、1科目あたり全授業回数の10%まで、複数科目にわたる場合は合計10コマ程度を上限とする）
- ・評価の算定期間は年1回、年度終了時。（次年度より、前期・後期それぞれの履修期間の終了時、年2回）

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

- ・前項の5段階グレードに対し、それぞれ以下の通り Grade Point を与える。
90点以上=A+ → 4.0、80点以上=A → 3.0、70点以上=B → 2.0
60点以上=C → 1.0、60点未満=D → (ポイントなし)
- ・グレード D の科目にはポイントが与えられないため、その学期の Grade Point は算出されない。また、グレード D の科目が一つでもあれば、留年となり全ての科目を再履修することとなる。
- ・各グレードを算出するための基礎となる評価（定期試験、小テスト、課題等）には、授業態度に対する評価など主観的な要素が認められるものは含まれない。
- ・各科目の Grade Point に基づき年度終了後 Grade Point Average (GPA) を算出し、グラフ化により学年毎に成績分布状況を把握している。

客観的な指標の算出方法の公表方法	https://abc-narita.ac.jp/wp-content/themes/responsive_243/images/seiseki.pdf
------------------	---

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の要件は次の通り

- ・2年以上在学して所定の科目を履修し、全ての単位が認定された者に卒業資格を与える。
- ・単位認定には、各科目、最低出席率 70% を満たし、全ての定期試験に合格することが条件となる。
- ・定期試験は本試験で不合格の場合、再試験を受験。再試験に不合格の場合、再々試験（有償）を受験する。再々試験（有償）に不合格の場合は、補講（有償）を受講し、担当講師が認めれば合格とする。

卒業の認定に関する方針の公表方法	https://abc-narita.ac.jp/wp-content/themes/responsive_243/images/seiseki.pdf
------------------	---

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	成田航空ビジネス専門学校
設置者名	学校法人翔陽学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://abc-narita.ac.jp/wp-content/themes/responsive_243/images/zaimusyo_2019_7.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://abc-narita.ac.jp/wp-content/themes/responsive_243/images/zaimusyo_2019_7.pdf
財産目録	https://abc-narita.ac.jp/wp-content/themes/responsive_243/images/zaimusyo_2019_7.pdf
事業報告書	https://abc-narita.ac.jp/wp-content/themes/responsive_243/images/zaimusyo_2019_7.pdf
監事による監査報告（書）	https://abc-narita.ac.jp/wp-content/themes/responsive_243/images/zaimusyo_2019_7.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	専門	オンラインビジネス科	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
2年	昼	102(103) 単位 *()は2年次後期に「クロスカルチャー」を選択した場合	講義 44(46) 単位	演習 58(57) 単位	実習 0 単位	実験 0 単位	実技 0 単位
			102(103) 単位 *()は2年次後期に「クロスカルチャー」を選択した場合				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160人	133人	3人	6人	24人	30人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 専門分野に係る科目、および、語学系の科目を中心としたカリキュラムで、年間授業計画は各担当講師が新年度開始前の講師会までに作成し、それぞれ、講義・演習の授業形式を中心に科目の性質に応じてバランスを考え実施している。
成績評価の基準・方法
(概要) 主として定期試験、出席率を評価対象として総合評価を100点満点で算出する。グレードは90点以上=A+、80点以上=A、70点以上=B、60点以上=C、60点未満=不合格とする。またそれにGrade Pointを与え、年間評価にはGPAを算出する。
卒業・進級の認定基準
(概要) 全科目において定期試験60点以上、出席率70%以上を満たし、成績評価がC以上であること。これを満たさない場合は卒業・進級を認めない。

学修支援等
(概要) <ul style="list-style-type: none"> ・担任制により年2回の定期個人面談の他、必要に応じ適宜面談を実施し、学習指導、就職指導を中心に学生をサポートしている。また、学生寮にも担当職員を充て、学生生活全般にわたり随時相談できる環境を整えている。 ・特待生制度をはじめ資格試験取得状況に応じたものなど、各種学費サポートプログラムを設けている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
59人 (100%)	0人 (0 %)	57人 (96.6 %)	2人 (3.4 %)
(主な就職、業界等) 航空業界、ホテル業界			
(就職指導内容) 勤労に対する心構え、エントリーシート作成指導、面接指導等			
(主な学修成果（資格・検定等）) TOEIC、英検、サービス接遇検定、サービス介助士			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
120人	5人	4.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談の実施回数を増加した		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
オンライン ビジネス科	150,000 円	890,000 円	400,000 円	*「その他」の内訳 海外研修費(250,000円) 施設設備料(150,000円)
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

https://abc-narita.ac.jp/wp-content/themes/responsive_243/images/jikohyoukasyo_2018.pdf

学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）

学校関係者委員会を設置し、より実践的な職業教育の質を確保するため、
教育活動の観察や意見交換等を通じて、自己評価の結果を評価することとする。
教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。

学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
----	----	----

*学校関係者評価を確実に実施し、2020年度からその結果を公表するために委員の選任を行う。

学校関係者評価結果の公表方法

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

*2020年度から評価を確実に公表する

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://abc-narita.ac.jp/>